

小松島商工会議所 商業・サービス合同部会 議事録

日時：令和7年8月7日（木） 午後4時30分から

場所：小松島商工会議所 会議室

出席者：商業部（4）、サービス部（1名）、事務局（3名）

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

小松島市の地域活性化に向けた様々な議論と、中山社長が行っている事業展開、そしてそれに伴う課題について協議

○小松島市の地域活性化への模索

- ・香川県の CRASSO が実施している工場見学（オープンファクトリー）の取組を参考に、産業観光の推進を通じて、地域資源を活用し新たな観光スポットを作ろうと計画している。
- ・宮崎県の観光成功事例を参考に、小松島独自の魅力を生み出すことの重要性を議論。
- ・以前の阿南市が大手企業中心だったのに対し、現在の安南市は「エコノミック・ガーデニング」という中小企業支援策を推進しており、小松島市もそれに倣うべきという意見あり。

○中山社長の事業展開とその課題

- ・本業の建設業だけでなく、飲食・食品事業へ多角的に進出している。ラーメン店、開業当初は近隣住民からの苦情や交通渋滞が発生した。
- ・若いカップル向けに安価な結婚式場を提供するなど、地域貢献にも意欲的。

○深刻な労働力不足と人材戦略

- ・日本全体、特に徳島県では少子高齢化による労働人口の減少が深刻で、企業は人手不足に直面している。
- ・これに対し、機械化・ロボット化の推進や、外国人雇用（ベトナム、フィリピン、ウクライナなどからの移民受け入れ）が解決策として議論。外国人雇用には失踪や訓練の難しさといった課題も指摘された。
- ・最低賃金の上昇や大手企業によるヘッドハンティングも、中小企業の人材確保をさらに困難にしている。

○中山社長への主な質問事項

- ・なぜ建設業から飲食・食品事業に参入しようと思ったのか、その具体的な勝算や事業経路を選んだ理由。
- ・投資したラーメン店でどれくらいの収益を考えているのか、もし事業がうまくいかなかった場合の**撤退条件（金額や期間）**をどう想定しているのか。
- ・小松島市に対する思い、そして自己資金の何パーセントを地域活性化に投じる覚悟があるのか。
- ・社員の教育と採用（人材確保）についてどう考えているのか。特に労働人口が急激に減少する中で、事業をどのように継続・発展させていくのか（機械化や外国人雇用の活用を含む）。
- ・「コマ」や「赤いのれん」のような事業承継の成功例を今後も小松島市で継続していくのか。

○中山社長とのミーティング

日時：8月26日（火） 18時からミーティング 19時から懇親会

場所：kappou KOMA

○10月の商業部会を23日か24日に変更できないか

4. その他

次回の予定 11月19日(水)、12月10日(水)

令和8年1月14日(水)、2月6日(金)、3月11日(水) 16時30分 ～